

決算補足説明資料

(2022年3月期第3四半期)

ミアヘルサホールディングス株式会社
(東証JASDAQ : 7129)

2022年2月9日



2022年3月期第3四半期
(決算概要)

2022年3月期第3四半期 決算概要



■業績状況（前年同四半期比） ①売上高：112.8% ②営業利益：95.0% ⇒ **増収・減益**

（主な要因）

- ①医薬事業は、薬価改定の影響を受け処方箋単価は減少しましたが、処方箋枚数が前年同四半期に比べて増加。
- ②保育事業は、新規保育園及び前連結会計年度にグループ会社化した(株)東昇商事の園児数、公立保育園の指定管理開始による園児数の増加が寄与したほか、2021年10月に子会社化したライフサポート(株)の園児数の増加が寄与
- ③介護事業は、コロナの影響によって通所介護事業所を中心に利用者数が伸び悩んだほか、ホスピス対応型ホーム等の開設に伴う先行コストが生じた。

第3四半期業績状況

（単位：千円）

	第3四半期		前年同四半期比	
	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率
売上高	12,389,257	13,972,017	1,582,760	12.8%
売上総利益	1,205,991	1,373,285	167,294	13.9%
販売費及び一般管理費	1,044,923	1,220,278	175,355	16.8%
営業利益	161,067	153,006	△8,061	△5.0%
営業利益率（%）	1.3%	1.1%	△0.2 ㊦	—
経常利益	178,178	167,220	△10,958	△6.2%
経常利益率（%）	1.4%	1.2%	△0.2 ㊦	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	122,675	105,849	△16,826	△13.7%

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

2022年3月期第3四半期
(セグメント業績)

セグメント売上高・セグメント利益（前年同四半期比）



■業績状況（前年同四半期比） ①売上高：**112.8%** ②営業利益：**95.0%** ⇒ **増収・減益**

セグメント 売上高・利益推移

（単位：千円）

		2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同四半期比	
				増減額	増減率
医薬事業	売上高	6,495,405	6,462,676	△32,729	△0.5%
	セグメント利益	384,639	393,080	8,441	2.2%
介護事業	売上高	2,431,028	2,554,466	123,438	5.1%
	セグメント利益	98,045	39,009	△59,035	△60.2%
保育事業	売上高	2,878,281	4,285,193	1,406,911	48.9%
	セグメント利益	239,139	293,371	54,232	22.7%
報告セグメント計	売上高	11,804,715	13,302,336	1,497,620	12.7%
	セグメント利益	721,824	725,462	3,638	0.5%
その他 （食品事業）	売上高	584,542	669,681	85,139	14.6%
	セグメント利益	12,353	26,122	13,769	11.5%
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△573,110	△598,578	△25,467	—
全社計	売上高	12,389,257	13,972,017	1,582,760	12.8%
	セグメント利益	161,067	153,006	△8,060	△5.0%

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

2022年3月期3Q 医薬事業（前年同四半期比）



■業績状況：売上高：99.5% 営業利益：102.2% ⇒ 減収・増益

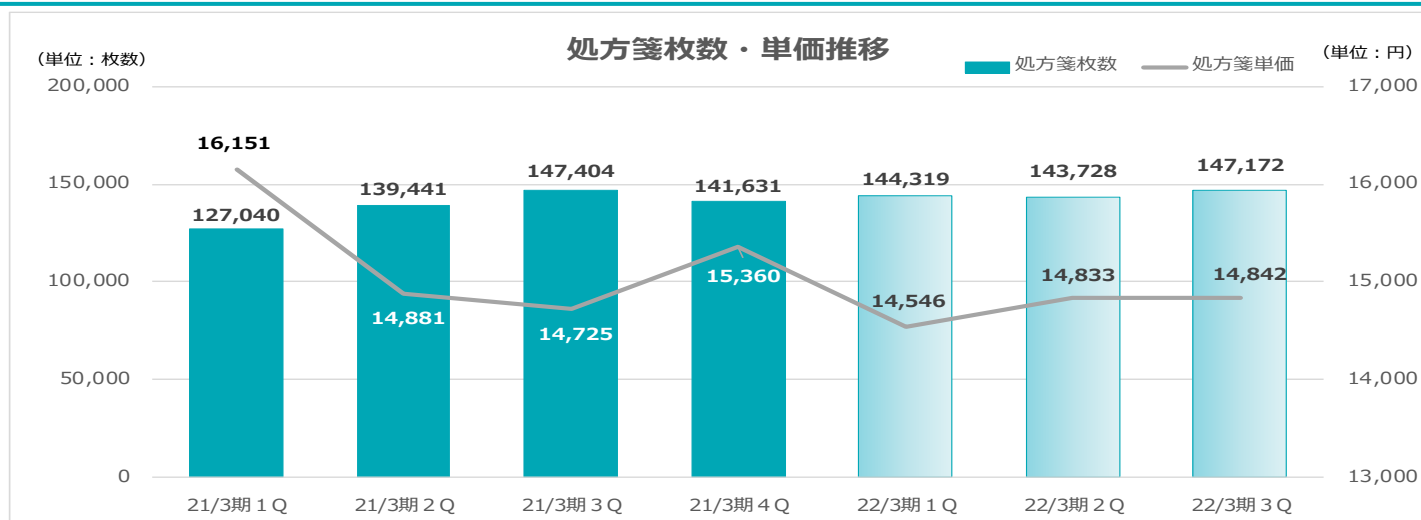
①処方箋枚数：105.2%（3Q累計期間比）

新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの、回復傾向で推移。

②処方箋単価：96.9%（3Q累計期間比）

「かかりつけ薬局」としてのサービス充実や後発品調剤等による加算体制の強化に努めるも、長期処方の減少と、2021年4月に実施された薬価改定の影響により、処方箋単価は低下。

③2021年12月開設の薬局2店舗のための先行コストが発生。



医薬事業	2021年3月期	2022年3月期	前年同四半期比	
	第3四半期	第3四半期	増減額	増減率
売上高 (千円)	6,495,405	6,462,676	△32,729	△0.5%
セグメント利益 (千円)	384,639	393,080	8,441	2.2%
セグメント利益率 (%)	5.9%	6.1%	0.2% <small>増</small>	—

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

2022年3月期3Q 介護事業（前年同四半期比）



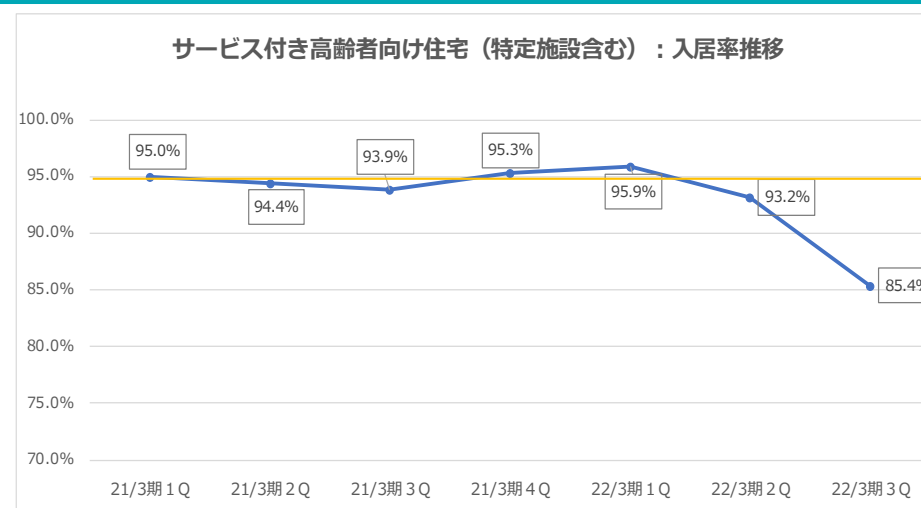
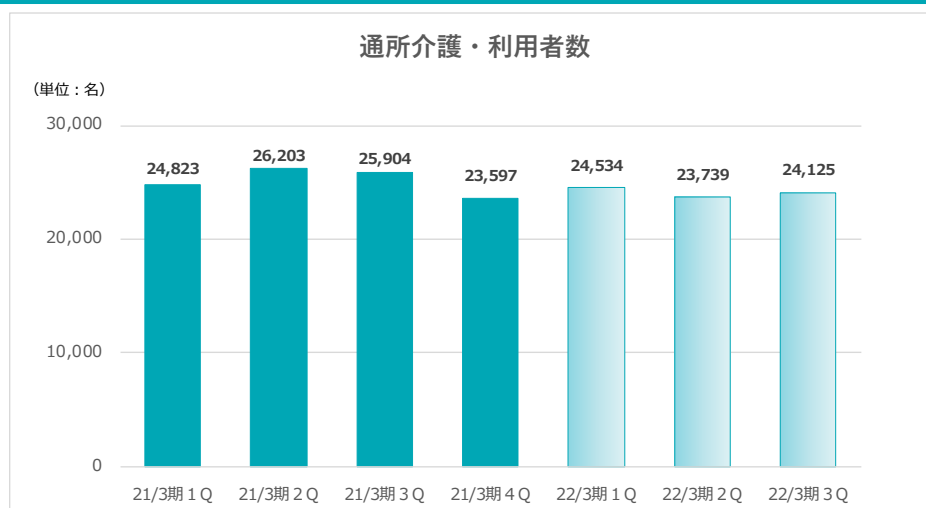
■業績状況 : 売上高 : **105.1%** 営業利益 : **39.8%** ⇒ **増収・減益**

新規開設及び前事業年度に事業継承した事業所の業績が寄与しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き、感染予防の観点から一部利用者の利用の自粛等により、通所介護事業所を中心に利用者が減少したほか、新規事業所開設のための先行コストが生じました。

①通所介護：利用者数は減少（利用者の自粛に加え、2021年5月に実施の事業所の統廃合の影響等）

②サービス付き高齢者向け住宅（特定施設含む）：入居率は低下

※2021年9月に「ホスピス対応型ホーム」の開設により、全体の入居率は低下しましたが、既存施設は高水準で推移しております。



介護事業	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高 (千円)	2,431,028	2,554,466	123,438	5.1%
セグメント利益 (千円)	98,045	39,009	△59,035	△60.2%
セグメント利益率 (%)	4.0%	1.5%	△2.5%	—

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績は、ミアヘルサ株式会社として公表した数値

2022年3月期3Q 保育事業（前年同四半期比）

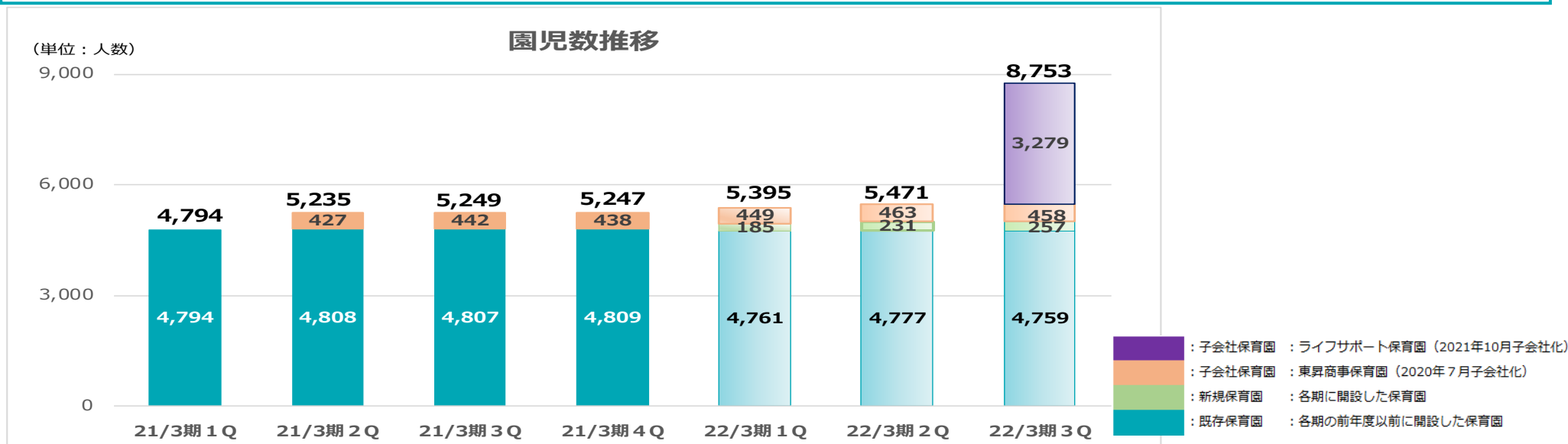


■業績状況 : 売上高 : **148.9%** 営業利益 : **122.7%** ⇒ **増収・増益**

2021年4月開設保育園、2020年7月に子会社化した(株)東昇商事の保育園(6園)、2021年10月に子会社化したライフサポート(株)の保育園(25園)の園児数の増加及び、公立保育園の指定管理開始による園児数の増加が、業績に寄与いたしました。

①園児数 : **128.4%** (+4,341名) (3Q累計期間比)

【主な増加要因】 2021年4月開設保育園 : +673名、2020年7月子会社の保育園 : +501名
2021年10月子会社の保育園 : +3,279名



保育事業	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高 (千円)	2,878,281	4,285,193	1,406,911	48.9%
セグメント利益 (千円)	239,139	293,371	54,232	22.7%
セグメント利益率 (%)	8.3%	6.8%	△1.5%	—

2022年3月期
連結業績予想達成度

2022年3月期 業績予想達成状況



■2022年3月期業績の進捗率（第3四半期累計）

①売上高：72.5% ②営業利益：82.7% ③経常利益：79.6% ④親会社株主に帰属する当期純利益：28.2%

■新規保育園開設に伴う特別利益（設備等補助金収入）について

2022年3月期第4四半期：2022年4月開園の認可保育園に対する施設補助金の特別利益が計上される予定です。

（参考）2021年3月期第4四半期：2021年4月開園（3園）418,496千円計上しております。

(単位：千円)	2022年3月期		
	(第3Q累計)	(通期)	
		実績	業績予想
売上高	13,972,017	19,265,000	72.5%
営業利益	153,006	185,000	82.7%
営業利益率 (%)	1.1	1.0	—
経常利益	167,220	210,000	79.6%
経常利益率 (%)	1.2	1.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	105,849	375,000	28.2%
当期純利益率 (%)	0.8	1.9	—
1株当たり当期純利益 (円)	42.68	150.89	28.2%

■前提 ① 上記連結業績予想につきましては、2021年11月15日の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。

② 2021年10月20日付で株式取得により子会社化したライフサポート株式会社の業績を反映しています。

Appendix

主な経営指標の推移 (2022年3月期)



回次		第34期	第35期	第36期	第37期	第1期 業績予想
決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(千円)	16,406,634	16,134,543	16,686,358	16,754,542	19,265,000
経常利益	(千円)	373,708	221,619	337,757	340,243	210,000
当期純利益	(千円)	308,305	339,765	435,895	478,180	375,000
資本金	(千円)	97,000	97,000	451,589	455,198	300,000
発行済株式総数	(株)	194,000	194,000	2,450,600	2,473,600	2,485,300
純資産額	(千円)	1,030,919	1,370,676	2,515,003	2,975,849	—
総資産額	(千円)	8,175,600	8,256,536	8,848,870	10,069,261	—
1株当たり純資産額	(円)	531.02	706.16	1,026.27	1,203.04	—
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	(円)	— (—)	— (—)	— (—)	25.0 (10.0)	30.0 (13.0)
1株当たり当期純利益	(円)	158.92	175.14	222.42	194.40	150.89
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	—	222.12	191.57	—
自己資本比率	(%)	12.6	16.6	28.4	29.6	—
自己資本利益率	(%)	35.2	28.3	22.4	16.1	—
株価収益率	(倍)	—	—	4.9	6.3	—
配当性向	(%)	—	—	—	12.9	—

- ※ 1. 2021年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期～2020年3月期の3期間については、ミアヘルサ単体決算数値・2021年3月期はミアヘルサ連結決算数値となっております。
- ※ 2. 第1期（業績予想）は、ミアヘルサホールディングスの業績予想であり、2021年11月15日公表の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。また、資本金及び発行済株式総数は、2021年12月31日時点となります。
- ※ 3. 2019年8月9日開催のミアヘルサ取締役会決議により、2019年8月29日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、第34期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算出しております。
- ※ 4. 2021年3月期の自己資本当期利益率は、ミアヘルサ連結初年度のため、期末自己資本に基づき計算しております。

- 本資料には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
- これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ご質問がありましたら下記窓口までお問い合わせください。
ありがとうございました。

I R お問合せ窓口	ミアヘルサホールディングス株式会社 I R 担当 E-mail contact-ir@merhalsa.jp T E L 03-3341-7205 IRサイト https://www.merhalsa-hd.jp/ir/inquiry/
---------------	--

免責事項

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、保証するものではありません。
- また、環境に関する記載内容は、信頼できると思われる各データに基づいて作成しておりますが当社はその正確性、完全性を保証致しかねますのでご了承ください。
- 本資料は、皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆様のご判断で行われますようお願い申し上げます。